



議会報

ならは



今回の議会報から
『右とじ』に
変わりました!

ここなら笑店街がオープンしました(6月30日)

■ 平成30年6月定例会 会期 6/6(水)～7(木)

- ▶ 平成30年6月定例会……………2～3ページ
- ▶ みなさんからの請願・陳情……………4ページ
- ▶ 臨時議会……………5ページ
- ▶ 町政を問う【一般質問】……………6～7ページ
- ▶ 委員会のうごき……………8～11ページ
- ▶ 議会の足跡／開会予定……………12ページ

平成30年

第181号

9月5日
発行

平成30年6月 檜葉町議会議会定例会

檜葉町平成30年度一般会計補正予算を含む、24案件が議決されました

平成30年第6回6月定例会は、6月6日・7日の2日間の会期で行われました。

提案された報告事項5件、専決処分の承認1件、条例改正2件、平成30年度補正予算1件、町道の認定2件、変更1件、工事請負契約締結1件、土地の取得1件、農業委員会委員の任命同意8件、発委2件の計24件について、慎重に審議された結果、原案どおり可決・承認・同意されました。

平成30年度 一般会計補正予算（第2号）

《補正額》 8億2,509万0,000円の増額

《予算総額》 107億9,437万0,000円

◆主な事業

道の駅ならば温泉保養施設災害復旧工事／4億2,457万5,000円
農道補修工事、用水路補修工事／1億2,277万4,000円

【賛成全員：可決】

報告事項

平成29年度一般会計繰越明許費繰越計算書

カントリーエレベーター施設整備事業ほか全18事業を、30年度へ繰越したものの。

《繰越額》 合計 68億7,164万8,000円

◆主な繰越事業

カントリーエレベーター施設整備事業／26億5,426万2,000円
屋内体育施設整備事業／17億6,872万1,000円
商業施設整備事業／14億7,418万3,000円

平成29年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

管渠移設事業ほか全4事業を、30年度へ繰越したものの。

《繰越額》 合計 1億4,064万8,000円

◆主な繰越事業

管渠移設事業／1億0,284万6,000円

平成29年度住宅用地造成事業特別会計繰越明許費繰越計算書

コンパクトタウン宅地造成事業を、30年度へ繰越したものの。

《繰越額》 5億7,669万7,000円

平成29年度一般会計事故繰越し繰越計算書

年度内完了が困難となった2事業を、30年度へ繰越したものの。

《繰越額》 合計 7億3,944万3,684円

産業再生エリア整備事業／4億7,783万4,120円
社会資本整備事業（復興）／2億6,160万9,564円

平成29年度下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書

年度内完了が困難となった管渠移設事業を、30年度へ繰越したものの。

《繰越額》 1,566万0,000円



災害復旧工事が始まる道の駅ならば

専決処分の承認

職員定数条例の改正

《専決》 平成30年5月25日
教育委員会事務局の業務増加に伴い、人員を充足するため専決。

【賛成全員…承認】

条例改正

国民健康保険税条例の改正

納税者の負担の適正化を図るため、国民健康保険税の賦課方式及び当該保険税率を見直す必要があるため一部改正。

【賛成全員…可決】

道路占用料徴収条例の改正

道路法施行令の改正に伴い、町道に係る占用料の額の改定、特例等に関する規定等を整備する必要があるため一部改正。

【賛成全員…可決】

町道の認定／変更

西原・五里内線

県道小埜上郡山線バイパス工事に伴い移管される区間を町道とする。

起点…井出字西原12番6

終点…井出字五里内62番1

【賛成全員…可決】

西原・下山根線

県道小埜上郡山線バイパス工事に伴い移管される区間を町道とする。

起点…井出字西原3番

終点…北田字下山根17番

【賛成全員…可決】

八石・小田前線

県道小埜上郡山線バイパス工事に伴い移管される区間と、西原・八石線及び西原・本釜線を連結し、路線名を八石・小田前線に町道とする。

【賛成全員…可決】

工事請負契約締結

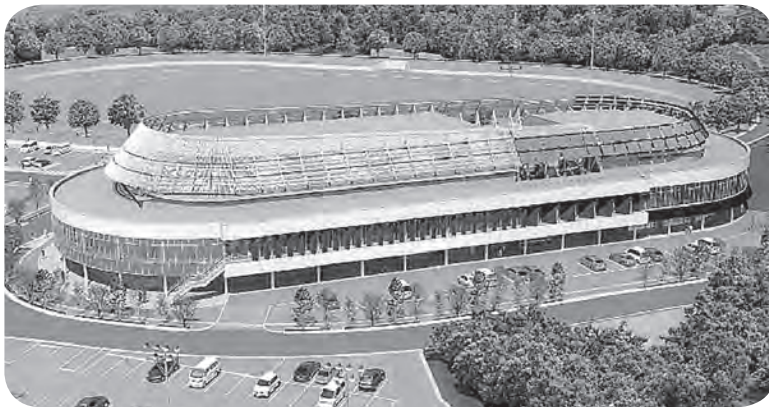
屋内体育施設再生可能エネルギー設備導入工事

◆契約相手 三共設備株式会社

◆契約金額 3億5,640万円

再生可能エネルギー設備（①太陽光発電パネル＋太陽光モジュール内蔵ガラス②太陽熱集熱パネル）
③地中熱利用システム）を導入し、ランニングコストの削減を図る。

【賛成全員…可決】



再生可能エネルギー設備を導入する屋内体育施設（イメージ）

土地の取得

総合グラウンド整備事業（駐車場整備）用地

◆所在 大谷字上ノ原23番外6筆

◆面積 1万1,905.58㎡
(地目…宅地 外)

◆価格 4,393万9,968円

◆地権者数 4名

【賛成全員…可決】

同意

農業委員会委員の任命

◆松本 新一 (上小埜)

◆梶原 貞一 (前原)

◆遠藤 庄一郎 (山田岡)

◆猪狩 富夫 (大谷)

◆渡部 昇 (下井出)

◆渡邊 秀幸 (山田岡)

◆古市 君江 (下小埜)

◆蛭田 博章 (上小埜)

【賛成全員…同意】

請願

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願

◆請願者

日本労働組合総連合会

福島県連合会双葉地区連合会

議長 新田 善之

◆紹介議員 結城 政重 議員

◆要旨

1 福島県最低賃金については、政府が掲げる「毎年年率3%程度を中途に引き上げ、全国平均で1000円を目指す」との方針に沿って、相応に引き上げを行うこと。

2 福島県の復興促進、労働人口の県外流失に歯止めをかけることを踏まえ、上積みの改正をはかること。

3 中小・地場企業に対する支援策等を強化し、最低賃金の引き上げを行う環境を整備すること。

4 一般労働者の賃金引き上げ時期を踏まえ、福島県最低賃金の改定諮問時期を可能な限り早期発効に努めること。

◆付託委員会

経済福祉常任委員会

◆結果採択

◆審査意見

最低賃金の引き上げは、労働者の生活改善、所得の向上を図るうえで必要であると判断し、採択とした。

委員会発議

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について

◆発議 経済福祉常任委員会

◆要旨

福島県の一層の発展をはかるため、最低賃金法の趣旨を踏まえ、福島県最低賃金の引き上げと早期発効について強く要望する。

【賛成全員…可決】

◆措置

榎葉町議会として、平成30年6月11日付け、衆議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長に対し意見書を提出しました。

陳情

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情

◆請願者

移植ツーリズムを考える会

理事 井田 敏美

◆要旨

1 国民が、命の大切さを考える中で臓器移植にかかる意思表示について具体的に考え、家族などと話し合う機会を増やすことが出来るよう、臓器移植に係る更なる啓発に努めること。

2 臓器提供施設における院内体制の整備を図るため、マニュアルの整備、研修会の開催など、個々の施設の事情に応じたきめ細かい支援を行うこと。

3 臓器移植についての説明から臓器提供後のアフターケアまでドナーの家族に対して、きめ細やかな対応が可能となるよう、必要な対策を講ずること。

4 臓器摘出手術から移送までを担う、臓器移植施設の担当医について、負担軽減対策を講ずること。

5 国民が、臓器移植ネットワーク

クの構築されていない国において、臓器移植を受けることのないよう、必要な対策を講ずること。

◆付託委員会

経済福祉常任委員会

◆結果採択

◆審査意見

国内における臓器移植の環境整備は、移植を希望する多くの患者を救ううえで必要であると判断し、採択とした。

委員会発議

臓器移植の環境整備を求める意見書の提出について

◆発議 経済福祉常任委員会

◆要旨

臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、臓器移植の環境整備に取り組みよう強く要望する。

【賛成全員…可決】

◆措置

榎葉町議会として、平成30年6月11日付け、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣に対し意見書を提出しました。

みなさんからの請願・陳情

平成30年5月臨時議会

会期 平成30年5月10日

補正予算

一般会計補正予算(第1号)

《補正額》

378万0,000円増額

《予算総額》99億6,928万円

◆補正事業

キャリア教育支援業務委託料

／378万0,000円

【賛成全員…可決】

専決処分の承認

平成29年度一般会計

補正予算(第10号)

《専決》平成30年3月30日

東日本大震災復興交付金事業の事業費が確定したこと等により専決。

《補正額》

1,784万5,000円減額

《予算総額》

240億4,023万8,000円

【賛成全員…承認】

税条例の改正

《専決》平成30年3月31日

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、専決。

【賛成全員…承認】

国民健康保険税条例の改正

《専決》平成30年3月31日

地方税法施行令等の一部を改正する政令の公布に伴い、専決。

【賛成全員…承認】

工事請負契約変更

ならは交流館新築工事

◆契約相手

合資会社諸橋建設工業

◆変更前

3億8,286万0,000円

◆変更後

4億0,420万9,440円

(2,134万9,440円増額)

電気負荷容量の変更等による増額。

◆変更後

7,831万5,411円

【賛成全員…可決】

商業交流ゾーン敷地造成工事(第2期)

◆契約相手 前田・五大特定

建設工事共同企業体

◆変更前

3億0,240万0,000円

◆変更後

3億1,935万0,600円

(1,695万0,600円増額)

公園照明工の追加等による増額。

【賛成全員…可決】

【賛成全員…承認】

笑ふるタウンならは商業施設新築工事(第1工区)

◆契約相手 堀江工業株式会社

◆変更前

7億6,572万0,000円

◆変更後

7億6,984万7,760円

(412万7,760円増額)

仕上げユニット工事の変更等による増額。

【賛成全員…可決】

備品購入契約変更

公設商業施設備品購入事業

(スーパーマーケット棟冷凍設備等)

◆契約相手

株式会社宮本冷機

◆変更前

7,835万1,399円

◆変更後

7,831万5,411円

【賛成全員…可決】

公設商業施設備品購入事業

(ホームセンター棟、ゴンドラ等)

◆契約相手

株式会社宮本冷機

◆変更前

3,204万3,600円

◆変更後

3,140万0,188円

(64万3,412円減額)

【賛成全員…可決】

平成30年7月臨時議会

会期 平成30年7月20日

補正予算

一般会計補正予算(第3号)

《補正額》

3,551万2,000円増額

《予算総額》

108億2,988万2,000円

◆主な事業

新駅交通広場整備事業

／2,490万0,000円

【賛成全員…可決】

工事請負契約変更

中満南団地住宅用地

造成工事(2工区)

◆契約相手 株式会社五大

◆変更前

4億5,144万0,000円

◆変更後

5億0,102万0,640円

(4,958万0,640円増額)

ソーラー照明灯設置工の追加等による増額。

【賛成全員…可決】

【賛成全員…可決】

町政を問う！

宇佐見 雅夫 議員



世城館の一つであり、ふるさとに自信を持ち、保存活用するためにも、指定に向けて検討して欲しい。

◆復興事業で傷んだ町道の改良(改修)について

復旧・復興事業により、町道の痛みが激しい路線が見受けられる。予想外の通行車両の多さから、路面のひび割れ、わだちの凹凸等が目につく。

問 道路の状況をどのように把握しているのか。

答 (町長) 毎週、建設課職員が二班体制でパトロールを実施している。その都度、道路が痛んでいる箇所などについては、応急処置を行い、維持工事等によって補修を実施している。国道や県道も、支障となる箇所等の発見・連絡があった場合は、管理者に速やかに連絡し対応を講じるよう要望している。

問 今後、痛みの激しい町道の改良(改修)については、どのように対処するのか。

答 (町長) 町内の復旧・復興事業が概ね完了し、大型車両の交通量が減少した後に、大規模な町道の改修が必要であると考えている。予算の確保を国に対して強く要望していく。

リア教育の中でも、檜葉の逸品づくりなどのテーマに取り組んでもらうことも、今後協議していきたい。

町への提言 鳥肉を地鳥に変えるとか、食材を一品足してカロリーを高めるとか、勝負の前には「パワーすいとん」というような形も含めて、特産品の開発について検討してどうか。

問 周辺には古代から当地を治めた「檜葉氏」の居城跡が残されているが、保存整備し「ヴィレッジ」と一体的に利用を図るべきと考えるが。

答 (町長) 地域史を掘り起し、古代から連続と続く先人の営みを再確認し、後世に伝えることは、私たちの責務である。地域史や地元の伝統文化などを紹介することで、「ヴィレッジ」の誘客を一過性のものに終わらせることのないよう、今後、文化財部門と観光部門が連携して検討を進めていく。

問 指定文化財に指定して活用するところが良いと思うが、今後どのような形で進めていくのか。

答 (教育総務課長) 民有地のままだと、大事な町の史跡が他のものに変わってしまう可能性もあり、少しでも前に進むよう検討していく。

町への提言 檜葉城は、町が誇れる中

の間を繋ぐ道路の新設や、土取り場跡地の活用の一環として、各種イベント開催時の臨時駐車場として利用可能な多目的広場の整備などを考えている。土取場跡地は、放射線等の研究に係る人材育成拠点の誘致場所としても活用可能ではないかと考えている。県や関係機関と連携を図りながら、整備を進めていきたい。

問 再開を機に、「マミーすいとん」以外の特産品も開発すべきでは。

答 (町長) 町特産品開発プロジェクトチームを立ち上げ、関係課等により議論してきた。地元の素材として、木戸川の鮭、昨年度より栽培しているサツマイモ、檜葉の米で作った日本酒などを軸に、農産物の生産・加工から販路開拓までを視野に入れ、特産品開発を推進していく。

問 「勝負食」という観点をに入れて、定着した「マミーすいとん」にパワーアップしたものを考えてはどうか。例えば「パワーすいとん」として、試合前に食べる、というようなイメージが必要ではないか。すいとんのパワーアップを考えてはどうか。

答 (産業振興課長) 既存のすいとんをどうパワーアップしていくか、プロジェクト会議の中で議論していきたい。中学校で新たに導入されるキャ

◆「ヴィレッジ周辺(「ヴィーロード)」の土地利用について

「ヴィレッジ」は今年7月に一部再開、来年には全面再開予定である。復興を後押しする施設として、今後の地域活性化に大いに期待が寄せられている。周辺地域も魅力あるフィールドに整備してこそ、日本有数の観光を含めた名所になるものと確信する。

問 現在、周辺で行われている土取り場は、いつ終了し、跡地はどのようなベル(地形)になるのか。

答 (町長) 現時点では、大堤に隣接する町道の高さから約7〜10mの高さまで採取する計画であり、面積にして約4・6ha程度の平場ができる予定である。

問 「ヴィレッジ」周辺の利活用について、具体的な計画はあるのか。

答 (町長) 「ヴィレッジ」と道の駅と

町政を問う！



◆野球場について

先日、大学野球の試合を観戦した。野球場の電光掲示板はとも素晴らしいが、その他の付属したものがまだ修繕されていない。

問 バックネットに穴等があり、危険である。その対策は。

答 (教育長) 本定例会において、バックネット修繕の補正予算を計上している。ただし、これは応急的な処置であり、今後は、野球場を含めた総合グラウンド全体の修繕計画を策定し、利用者が安全に使用できるよう、効率的な修繕について検討していく。

問 バックネットの下の部分が切れている。今回修繕するの？

答 (教育総務課長) 今回計上したのは、公式戦をする上で最低限度の金網の補修である。

問 なぜ、電光掲示板の改修と合わせて修繕しなかったのか。

答 (教育総務課長) 全体的な修繕計画がない上での工事であったため、今後は修繕計画を立て、どのような修繕が良いか検討していきたい。

問 福島国体から二十数年経っており、バックネットも金網も腐食している。この状況は把握しているのか。

答 (教育総務課長) 担当から報告を受けている。安全面からも、今後の修繕計画で再点検していきたい。

問 観客席及びバックネットの支柱・ワイヤーがサビている。その対策は。

答 (教育長) こちらも、本定例会において補正予算を計上しており、当面、今回の応急的な修繕により対応できる。

問 支柱のサビ止めも、応急措置に入っているのか。

答 (教育総務課長) 支柱のサビ止め等も、バックネットの金網の補修と合わせて実施する計画である。

問 1塁側にファールボールが飛んでいってしまうので、フェンスが必要ではないか。今後、北西側に駐車場を整備された場合、ファールボールが飛んで危険である。

答 (教育長) 野球場を含めた総合グラウンド全体の修繕計画を策定する際に、新たに安全対策を講ずるべき箇所なども総点検していきたい。

問 駐車場予定地までファールボールが飛んでいく場面も見受けられた。硬式球の場合、車のフロントガラスに当たれば、ガラスが割れることもあるのではないかと。

答 (教育総務課長) 一塁側へのフェンスの設置について、今回の補正予算には計上していない。莫大な予算も関係する。まずは安全面が大事であり、大会開催時に注意喚起をする等の対策を講しながら、修繕計画の中で検討していきたい。

問 グラウンド整備用の土を、いまのところバックネットの裏側にストックしているが、今後どのようにしていくのか。新しく倉庫を建ててその中にストックするの？

答 (教育総務課長) 今は、バックネット北側の1塁側の後ろにシートをかぶせてストックしている。今後、専門的な意見等を聞きながら、修繕計画等の中で検討していきたい。

答 (教育長) 今のままで、景観も良くない。駐車場を北西側に整備予定であり、その一角にある程度雨をしのげる構造のものを設置し、移動させる

計画で検討している。

問 確かに、楯葉球場は非常にすばらしい。電光掲示板を見れば、球速表示などすばらしいものである。この辺をも少し町としてアピールしていけば良いのではないかと。

答 (町長) 野球に限らず、Jヴィレッジとも連携をとりながらアピールしていきたい。昨年度は楯葉町で高校野球を開催するなど、交流人口も増やしながら町を挙げてアピールをしていきたい。

◆屋内体育施設について

問 屋内体育施設の工事が始まり、総合グラウンド内の道路が通行止めになっている。町民は健康増進のために散歩をしている。工事中でも散歩できる歩道を確保すべきと思うが。

答 (教育長) 総合グラウンド内は、屋内体育施設の建設工事で、車輛が頻りに往復するため、安全性の観点から通行止めにしており、歩道を設けることも困難な状況である。町民の皆様には、しばらくの間、ご不便をおかけするが、ご理解を賜りたい。

町への提言 どの高校もプロも楯葉球場を使いたいというような状況にするため、早急に全体的な改修をしてもらいたい。

総務環境常任委員会

特定廃棄物埋立処分施設の実態調査

【調査日：平成30年4月10日】

環境省では、昨年の11月より富岡町にある既存の管理型処分場（旧フクシマエコテッククリーンセンター）への廃棄物の搬入を開始している。当委員会では、特定廃棄物埋立処分施設の実態調査として、環境省の担当者より説明を受け、現在、廃棄物の搬入及び埋立作業を実施している処分施設を現地にて調査した。

1 施設概要

○場所 富岡町上郡山地区内

（※搬入路は榎葉町上繁岡地区内）

○規模

処分場面積…約9.4 ha

埋立地面積…約4.2 ha

埋立容量…約96万³m

残余容量…約74万³m

○埋立対象 福島県内で発生した焼却灰

やリサイクルできない不燃物のうち、

放射能濃度10万Bq/kg以下の廃棄物

・双葉郡8町村の帰還した住民の生活

ごみ…約2.7万³m

・対策地域内廃棄物（がれきなどの災

害廃棄物、住民の片付けごみ）等…

約44.5³m

・福島県内の指定廃棄物（焼却灰、下

水汚泥、農林業系副産物などのうち、

8,000～10万Bq/kgのもの）

2 これまでの搬入実績

○搬入開始…平成29年11月17日

平成30年1月22日からは、高速道路

を利用した輸送を開始。

○輸送・埋立の実績（平成30年3月31

日現在）

・搬入された廃棄物（袋数）

…11,902袋

・輸送車両延べ台数…2,196台

3 平成30年度の予定

○平成30年度末までに全体で7万5,0

00袋、榎葉町内から1万5,000

袋程度を搬出予定。平成30年3月末

までに、町内から5,000袋程度搬

出済み。

○波倉地区にセメント固型化施設を整

備中。平成30年10月より稼働予定。

※セメント固型化施設

放射性セシウムが比較的溶出しやす

い廃棄物（飛灰など）をセメント固型

化する施設。飛灰とセメントなどを混

ぜたものを、各型収納容器に入れて成

形する。

4 情報発信拠点・見学者対応施設整備

○情報発信拠点

・場所…富岡町内（国道6号沿い、東京

電力福島第二原子力発電所入口付近）

・完成…平成30年8月24日開館

・施設概要…展示室、会議室・イベン

トスペース、コミュニティスペース、

トイレなど。処分施設への見学受入

れや、ライブカメラ映像の放映、科

学実験教室等イベントの開催を予定

している。

○見学案内施設

・場所…榎葉町内（施設搬入路入口付近）

・施設概要…見学方法の案内展示、見

学者用バスの乗り換え待合スペース

となる施設。トイレも併設する予定。

○展望台

・場所…施設内の既存の展望台を改修

予定。手摺やアプローチ階段の改修、

案内板を設置予定。



特定廃棄物埋立処分施設の状況を調査

5 まとめ

今回調査した、特定廃棄物埋立処分事業については、施設への廃棄物の搬入から埋立、保管まで、法に基づく適正な安全管理体制を確認できた。また、情報発信拠点や見学者対応施設の整備を進めており、積極的な情報公開にも取り組んでいる。

しかし、安全協定を締結したものの、当施設への不安を感じている周辺住民は多く、より積極的に地域とのコミュニケーションと情報公開を図るとともに、国・県・町が連携し、地区住民の意見を尊重した有効な地域振興策を講じ、周辺住民との信頼関係を構築するための努力を環境省に求めた。

町では復興のシンボルとして、災害公営住宅や分譲住宅、医療・商業・交流施設が集積した生活拠点「笑ふるタウンならは」を北田地区に整備しており、平成30年夏には全ての施設が完成する見込みである。当委員会では、現在整備を進めている商業交流ゾーン及び住宅ゾーンについて、担当している復興推進課、新産業創造室、建設課より説明を受け、現地において各施設の整備状況を調査した。

1 概要

- ・商業交流ゾーン
平成29年度から造成工事、商業施設建築工事に着手し、平成30年6月下旬開業。また、交流館も7月下旬にオープン。
- ・医療福祉ゾーン
県立のふたば復興診療所（愛称「ふたばリカール」）、及び蒲生歯科医院が開業中。
- ・住宅ゾーン
災害公営住宅…140戸が完成（中満南団地123戸、寺脇団地17戸）。
分譲住宅（1工区）…宅地18区画完売。
分譲住宅（2工区）…宅地37区画造成工事中（戸建て31区画、集合住宅6区画）。
平成30年夏完成予定。

2 商業交流ゾーン

(1) 交流館

○施設概要

- ・名 称…みんなの交流館ならは
- ・構 造…鉄骨造+木造、2階建
- ・延床面積…879.19㎡

(2) 商業施設

○施設概要

- ・名 称…ここなら笑店街
- ・構 造…3棟全て鉄骨造平屋建
- スケジュール
 - ・着 工…平成29年9月
 - ・竣 工…平成30年5月
 - ・オープン…平成30年6月
- スーパー棟
 - ・延床面積…1,124.52㎡
- 共同店舗棟
 - ・延床面積…927.72㎡



建築中の「ここなら笑店街」を調査

3 住宅ゾーン

○中満南住宅団地（災害公営住宅）

- ※平成29年6月から入居開始
- ・整備戸数…123戸（戸建119棟、4戸長屋1棟）

○中満南分譲地（1工区）※分譲済み

- ・住宅区画…18区画

○寺脇住宅団地（災害公営住宅）

- ※平成30年3月から入居開始
- ・整備戸数…17戸（戸建17棟）

○中満南分譲地（2工区）※造成工事中

- ・住宅区画…戸建31区画、集合6区画
- ・完成予定…平成30年夏

○町道笑ふるタウン線 ※設計・協議中

- 概要…国道6号と中満南分譲地（2工区）を結ぶ道路
- 平成31年度以降 実施設計、整備工事

4 まとめ

笑ふるタウンの整備は、町の復興を町内外へアピールする意味から、帰町した町民から大きな期待を寄せられている。開業後も、各店舗の運営が円滑かつ堅実に継続するよう、町、事業者、指定管理者であるならはみらい、3者の緊密な連携が求められる。

併せて、現在整備中である分譲住宅や交流館について、町内外に広くアピールし、町への定住・交流人口の増加に繋げるよう要望した。

原子力発電所安全対策常任委員会

原子力発電所の安全に関する調査

【調査日：平成30年4月24日】

(平成30年3月28日 11:00現在)

	圧力容器 底部温度	格納容器内 温度	燃料プール 温度	原子炉 注水量	使用済 燃料
1号機	約14℃	約14℃	約23℃	約2.8m ³ /時	392体
2号機	約20℃	約20℃	約23℃	約3.0m ³ /時	615体
3号機	約18℃	約18℃	約22℃	約2.8m ³ /時	566体
4号機	燃料無し	燃料無し	約12℃	注水無し	移送済

○各号機とも「冷温停止状態」を継続している。

1 1～4号機の状況

東京電力福島第一原子力発電所では、現在、廃炉作業を進めているが、燃料デブリの取り出しや汚染水対策など、解決しなければならぬ多くの課題を抱えている。今回、当委員会では、福島第一原子力発電所の現状調査として、現地にて東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」）より説明を受け、現状を確認した。

2 汚染水対策の3つの基本方針と進捗状況

○方針1 汚染源を取り除く

①多核種除去設備（ALPS）による汚染水浄化
↓平成27年5月、タンク内に貯蔵していた高濃度汚染水の浄化完了

②トレンチ（配管などが入った地下トンネル）内の汚染水除去
↓平成27年7月、除去完了

○方針2 汚染源に水を近づけない
①地下水バイパスによる地下水くみ上げ
↓くみ上げ量…合計約36・3万トン（平成30年3月28日現在）

②建屋近傍の井戸（サブドレン）での地下水くみ上げ
↓くみ上げ量…合計約50・9万トン（平成30年3月27日現在）

③凍土方式の陸側遮水壁の設置
↓平成28年3月、凍結開始

④雨水の土壌浸透を抑える敷地舗装
↓平成27年度末に概ね終了（建屋周りや海側法面部を除く）

○方針3 汚染水を漏らさない
①水ガラスによる地盤改良
↓平成26年3月、改良完了

②海側遮水壁の設置
↓平成27年10月、閉合完了

③タンクの増設（溶接型へのリプレース等）
↓フランジ型から溶接型へのリプレース、溶接型タンクの増設を計画・実施中

3 まとめ

今回の調査において、廃炉に向けた当面の課題である、燃料デブリの取り出し、労働環境の改善について、着実な進展が確認できた。

しかし、汚染水対策については、敷地内のタンクに貯蔵しているトリチウムを含む処理水は今後も増え続けるため、国及び東京電力において早急に処理方針を決定すべきである。

廃炉は、30年～40年という長期間にわたる作業であり、失敗は決して許されない。今後も、帰町した町民に再び不安を与えることのないよう、着実かつ安全な廃炉作業の実施を要望した。



第一原子力発電所の状況を現地にて調査

檜葉町議会議員定数に関する調査特別委員会

議会議員定数に関する事項調査（第2回）

【調査日：平成30年5月8日】

資料1 郡内町村の住基人口と議員定数・報酬の状況

	住基人口		増減	議員定数		増減	議員報酬月額（百円）		増減	条 改 正
	H22.3	H29.7		H22.3	H29.7		H22.3	H29.7		
広野町	5,495	4,926	△ 569	12	10	△ 2	2,220	2,220	—	H15.4
檜葉町	8,061	7,233	△ 828	14	12	△ 2	2,380	2,380	—	H10.1
富岡町	15,868	13,384	△ 2,484	16	14	△ 2	2,309	2,380	71	H23.4
川内村	3,029	2,707	△ 322	12	10	△ 2	2,180	2,180	—	H20.4
大熊町	11,405	10,589	△ 816	14	12	△ 2	2,340	2,340	—	H10.1
双葉町	7,178	6,126	△ 1,052	12	8	△ 4	1,856	2,320	464	H23.4
浪江町	21,577	18,218	△ 3,359	20	16	△ 4	2,350	2,350	—	H15.4
葛尾村	1,576	1,460	△ 116	10	8	△ 2	1,630	1,920	290	H23.4

1 調査・検討の経過
委員会において、郡内及び県内の他町村議会の定数削減の状況を調査し、今後の進め方及び視察研修先について検討を行った。

資料2 県内他町議会の定数削減の状況

町村名	調査・協議形態	期 間	回 数	調査趣旨	報告内容	結 果
南会津町	議会議員定数及び報酬特別委員会	2年間 28.3月～30.2月	住民説明会 4地区4日 参加者 43人	人口減少と適正な議員の数そして議員活動の在り方と適正な報酬を検討する。	定数を2名削減し18名から16名に。報酬月額を3万円引上げ。	30.3月条例改正。 31.4月の選挙から実施。 2名削減【18名⇒16名】 報酬1万円増額【22万円⇒23万円】 30.4月から実施。
会津美里町	議長から議運に諮問し「町民協働会議」を設置	1年間 28.1月～12月	6回	人口減少を見据えた行財政改革の推進を図る。	定数を2名削減し18名から16名に。報酬は1万9千円増額。 221,000円⇒240,000円	28.12月条例改正。 29.10月の選挙から実施。 2名削減【18名⇒16名】 報酬増額なし。

双葉郡内では、震災後3町村が議員報酬の増額改正を実施しているが、いずれも震災前の決定に基づく改正であり、施行が震災後となったもの。
県内の最近の動きとしては、南会津町及び会津美里町の2町が定数削減を実施しており、南会津町では、同時に議員報酬の増額改正を実施している。

○各委員の意見

・報酬については、郡内各町村ともほぼ同程度の金額であると感じる。今回の検討は、定数削減に絞って議論すべきなのではないか。

・郡内でも、双葉町や葛尾村のように議員数が8名のみ議会がある。少人数での議会運営で、委員会活動などで不都合はないのか。実態を知りたい。

2 まとめ

震災後、郡内のいずれの議会においても定数削減を実施しており、その結果、双葉町と葛尾村が定数8名と最少数での議会運営を行っている。また、直近の県内の動きとして、南会津町が定数削減を実施しており、同時に議員報酬の増額改正も実施している。

このようなことから、次回以降の当委員会で実施する視察研修候補を、郡内から双葉町議会と葛尾村議会の2ヶ所、県内から南会津町議会とし、少人数での議会運営の実態や定数削減、議員報酬の見直しに至った経過や進め方などについて研修することとした。

今後、この視察研修を踏まえ、当委員会としての調査結果を12月定例会までにまとめたい。

議会の足跡【5月～7月】

日付	5 月
8	議員定数に関する調査特別委員会 議会運営委員会（5月臨時会）
10	第5回5月議会臨時会
14	全国原子力発電所所在町協議会総会（東京都）
19	榎葉南・北小学校・中学校合同運動会
22	常磐線（仮称）Jヴィレッジ駅新設工事起工式・安全祈願祭
23	町村議会広報研修会（郡山市）
24	福島県議会企画環境委員会調査来庁
28	全国町村議会議長・副議長研修会（東京都）
29-30	双葉地方町村会・議会議長会合同要望活動（東京都）
日付	6 月
1	議会合同委員会
4	福島県町村議会議長会定期総会（福島市）
6-7	第6回6月議会定例会
13	榎葉南・北小学校2年生議場見学
15	第38回あやめ祭り開幕式（会津美里町）
20	新潟県刈羽村議会原子力発電及びエネルギーに関する調査特別委員会視察研修来庁
22	東日本大震災及び原子力災害特別委員会（里山除染の実態調査）
27	北海道・東北各道県町村議会議長会東日本大震災・原子力発電所事故福島被災地視察来庁
30	榎葉町公設商業施設「ここなら笑店街」オープニングセレモニー



南・北小学校2年生が議場を訪問（6月12日）

日付	7 月
1	双葉郡スポーツ交流大会（浪江町）
4	東日本大震災及び原子力災害特別委員会（北産業団地の現状）
5	福島県原子力発電所所在町協議会総会
10	復興副大臣と議会議長との意見交換会（福島市）
11	全国原子力発電所立地市町村議会議長会総会（東京都）
12	議員定数に関する調査特別委員会（双葉町議会：いわき市）
13	議員定数に関する調査特別委員会（葛尾村）
18	議会運営委員会（7月臨時会）
19	議員定数に関する調査特別委員会（南会津町）
20	第7回7月議会臨時会
24-26	東日本大震災及び原子力災害に関する特別委員会視察研修（青森県）
28	Jヴィレッジ再始動記念式典
30	みんなの交流館「ならはCANvas」落成式
31	平成30年度東北横断自動車道いわき新潟線等建設促進期成同盟会合同大会及び要望活動（東京都）

平成30年9月定例会は、
9月11日（火）から
開会予定です。

【開会日は変更となる場合があります。予めご了承ください。】

●場所 榎葉町役場 3階 議場

※ 議会を傍聴される際には、決まりを守り静粛に傍聴されるようお願いいたします。なお、席には限りがありますので、予めご了承ください。

発行・編集者
榎葉町議会

双葉郡榎葉町大字北田字鐘突堂5番地の6
☎0240-23-6132 Fax0240-25-5564